

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
社会福祉発達史	北村 香織	講義	2	-	2	2	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	イギリスと日本における社会福祉(思想・政策・事業)の歴史的展開を考察する(特にイギリスを重点的に扱う)。少子高齢社会という現実、政治においても社会福祉を含む社会保障制度の在り方は大きな争点となっている。当講義では時事問題も取り入れながら講義を進め、理解を深める。私たちの生活と密接に関わる制度であり取り組みでもある社会福祉の成り立ちや先人のあゆみから、自分たちが生きている社会の特徴及び自身の置かれている社会的状況を知る手がかりをつかんでもらいたい。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会福祉の思想と政策についての基本的知識を身につける。</li> <li>2 貧困に対する社会の対応策について歴史的に捉えることができる。</li> <li>3 現在の社会保障制度の基本的な考え方や歴史的役割を説明できる。</li> </ol>						
回	学習内容						
1	オリエンテーションー歴史を学ぶということ						
2	社会福祉の原型(前史)						
3	イギリス:社会変動と労働者立法の成立						
4	イギリス:救貧法の成立過程 — エリザベス救貧法までの道のり						
5	イギリス:貧困の原因は何か — 救済の責任はどこに						
6	イギリス:救済基準の設定 — スピーナムランド制度						
7	イギリス:社会調査 — 貧困の把握と貧困をみる眼						
8	イギリス:新救貧法成立に影響を与えた思想・著作						
9	イギリス:社会の仕組みと生活 — 労働組合の成立(ウェップ夫妻の思想をてがかりに)						
10	イギリス:社会保障制度の成立 — ベバリッジ報告						
11	日本:人物から学ぶ慈善事業						
12	日本:人物から学ぶ社会事業						
13	日本:社会事業の成立から厚生事業へ						
14	日本:50年勧告と社会保障政策の構造						
15	試験及び試験終了後に、日本:歴史から学ぶ現在の社会福祉政策の特徴						
予習内容 復習内容	予習:講義中に示す文献に目を通す等。 復習:ノートの整理と考察メモを書き込む。						
教科書	テキストは使用しない。資料を毎回配布する。参考文献は講義中に提示。						
成績評価	試験80%、授業ごとに提出するレポート(課題の場合もあり)20%。 6回以上欠席をした場合、試験の受験資格はありません。						
実務経験	障害者支援施設での勤務経験有。歴史上の出来事と現在の実践現場での事象との繋がりを示します。						
その他 特記事項	歴史といっても、あまり堅苦しく考えずに受講して下さい。現在につながる歴史を楽しんでもらいながら、現状を知るための手がかりをつかんでいただければと思います。また、講義は教員と受講者双方で創るものです。積極的な授業参加と授業環境保持を求めます。						